

第250回 京都歩こう会コース案内

リーダー 鎌田 正康

日 時:平成29年6月23日(金)

集 合:JR奈良線 長池駅 10時出発

コース:歴史と緑の城陽を歩く ☆

距 離:7.0km

行 程:JR長池駅→森山遺跡→友愛の丘～鴻ノ巣山運動公園(昼食)→鴻ノ巣山展望台→
 水度神社→正道官衙遺蹟→久世神社→JR城陽駅(解散)
 0.5 → 2.6 → 0.7 → 0.9 → 1.2 → 0.6 → 0.5 → (単位:km)

【見どころ】

- 森山遺跡:城陽市の西縁を南北に貫流する木津川を臨む台地上に所在。縄文時代後期中頃を中心とする集落跡であり、さらに弥生時代および古墳時代の遺構、遺物がある。縄文時代の住居跡は、直径約10メートルの円形の竪穴住居跡をはじめとし、ほかに径6～10メートルの竪穴住居跡がある。竪穴住居の床面には、やや掘りくぼめた地床炉が設けられている。
- 鴻ノ巣山:海拔117m、全山小松の生い茂る緑まぶしい山で、名前の由来は、鴻の鳥が巣を作ると豊年になるとのいわれから。特に山頂に設けられた展望台からの眺めは素晴らしく、眼下に木津・淀の清流・生駒・比叡・愛宕の連山をはるかに望むことができる。また、付近には城陽市総合運動公園(鴻ノ巣山運動公園)の設備もある。
- 水度神社:鴻ノ巣山の麓、城陽市寺田水度坂に位置。旧寺田村の産土神で現在の本殿は1448年建立、市内で最も古い建造物で重文。
- 正道官衙遺蹟:(しょうどうかんがいせき)城陽市寺田正道にある官衙跡。台地西端の池畔で瓦片や土器片が見つかって古代寺院があったと推定されたことから、当初は地名を取って正道廃寺跡と名づけられた。しかし、その後の発掘調査で、南を築地で限られた区画に奈良時代の郡衙(ぐんが)(役所)の中心部分と推定される掘立柱建物群跡が発見され、正道遺跡と改名された。



森山遺跡



鴻ノ巣山運動公園



正道官衙遺蹟

【次回第251回ご案内】

日 時:平成29年7月28日 (第4金曜)

コース:鞍馬・木の根道を歩く 7.5km

集 合:叡山本線 鞍馬駅 午前10時 出発

【次回下見会のご案内】

日 時:平成29年7月14日 (第2金曜)

コース:保津峡～清滝～梶ノ尾 距離:8.0km

集 合:JR嵯峨野線 保津峡駅 午前10時 出発